

8. 継続的な見直しに向けて

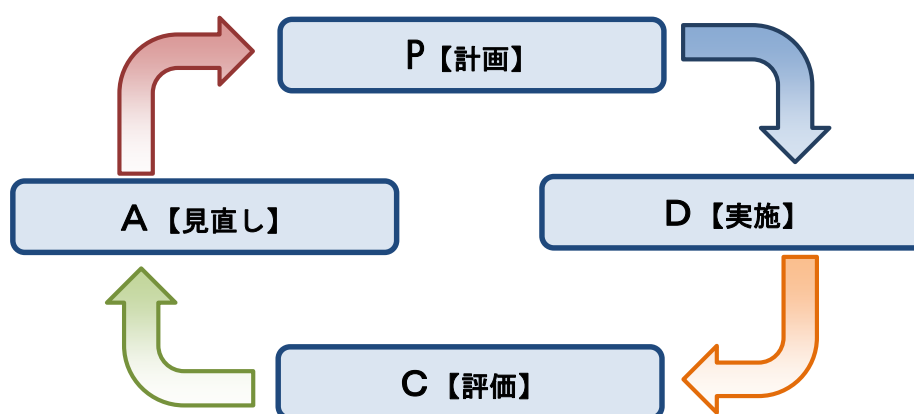
(1) PDCA サイクル

1) PDCA サイクルの手順

見直し後にも利用者ニーズ、交通事業者の状況、財政状況、社会状況など時間の経過とともに変化していくことが予想されます。

これらの変化に対応し岩沼市にふさわしい公共交通体系を構築していくため、定期的
に実施施策の見直しを行います。

市民バス等の運行については、PDCA サイクルによるマネジメントにより、計画 (P)、
実施 (D) を行い、評価 (C)、見直し (A) により柔軟に計画を行い、よりよい計画に
していくものとします。



PLAN 【計画】	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者ニーズの把握 ○現状の課題に基づく基本方針・具体的施策の策定 ○評価指標の設定 等
DO 【実施】	<ul style="list-style-type: none"> ○計画に基づく事業の実施 ○周知・広報・啓発活動 等
CHECK 【評価】	<ul style="list-style-type: none"> ○評価指標の確認 ○その他の効果の検証 等
ACTION 【見直し】	<ul style="list-style-type: none"> ○評価をふまえた実施施策の見直し ○利用者確保のための施策の見直し

図 8.1 PDCA サイクルの概念

(2) PDCA サイクルのスケジュール (案)

市民バス等の改善に向け、本計画における実施施策については、以下のスケジュールでPDCA サイクルを実施していきます。

表 8.1 PDCA サイクルのスケジュール (案)

実施項目	H28	H29年度		H30年度		H31	H32	H33	備考	
	年度	上半期	下半期	上半期	下半期	年度	年度	年度		
改定に向けた準備	計画策定	P →								
	事業者との調整		D →				D →		D →	随時調整を実施
	運行ダイヤの決定		→							
	バス停掲載情報の修正		→							
	行き先表示方法の修正		→							
	周知、利用啓発		→							
	市民バスPR資料の作成、配布		→			→				
	時刻表・路線図の改定、配布		→			→				
	デマンド交通利用説明会		→			→				
	改定案の運行		→							
運行の検証と更なる改善の検討				C →	A/P →	C →	A/P →			

(3) 計画実施の体制

本計画は、多くの関係者が連携して実施していく必要があります。

市内の公共交通関連事業者が参画する地域公共交通会議や市の各種施策との調整、市民との意見交換を行う市民懇談会の3つの場を活用し、市民の意見を踏まえながら、地域の公共交通機関等と連携を図りながら計画を推進し、岩沼市にふさわしい公共交通体系を構築していきます。

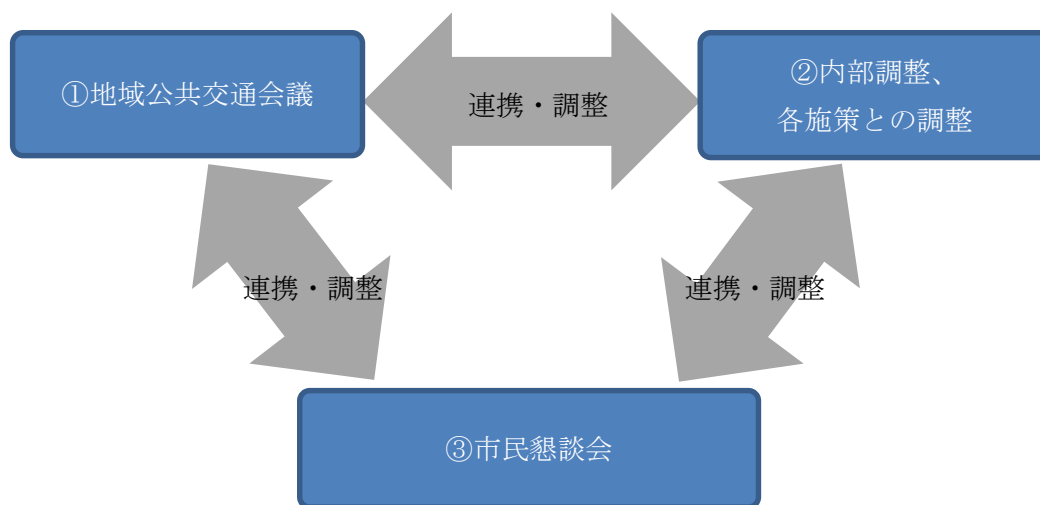


図 8.2 計画の実施体制